

新・尾瀬ビジョン

～「あなた」と創る「みんな」の尾瀬～



作成：尾瀬国立公園協議会

環境省、林野庁、福島県、栃木県、群馬県、新潟県、檜枝岐村、南会津町、日光市、片品村、魚沼市、(公財)尾瀬保護財団、三井物産(株)、東京電力HD(株)、東京パワーテクノロジー(株)、尾瀬檜枝岐温泉観光協会、南会津町観光物産協会館岩支部、日光市観光協会湯西川・川俣・奥鬼怒支部、片品村観光協会、魚沼市観光協会、尾瀬山小屋組合、尾瀬保護指導員福島県連絡協議会、日本野鳥の会栃木県支部、片品山岳ガイド協会、新潟県自然観察指導員の会、尾瀬ガイド協会、(公財)日本自然保護協会、(一社)自然公園財団、斎藤晋、長橋良隆、加藤峰夫(2018年9月10日現在・敬称略)

2018年9月10日

尾瀬国立公園協議会

新・尾瀬ビジョンの概要

～「あなた」と創る「みんな」の尾瀬～

新・尾瀬ビジョンとは？

尾瀬にかかわる「みんな」の想いをとりまとめた
“これからの尾瀬がめざす姿と方向性”

最初の尾瀬ビジョン(2006年)の策定から10年以上が経過し、尾瀬を取り巻く
自然的・社会的環境の変化等を踏まえ、将来を見据えたビジョンへと改定

自然的・社会的環境の主な変化

- ① 少子高齢化・人口減少による影響
- ② ライフスタイルの変化とレジャーの多様化
- ③ 外国人旅行者の増加
- ④ 気候変動による自然生態系への影響
- ⑤ ニホンジカによる影響
- ⑥ 財政状況などの悪化

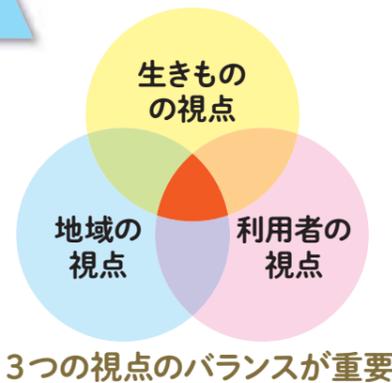
活かしたい尾瀬の強み

- ① 歴史・伝統・文化の魅力
- ② 尾瀬が持つ普遍の価値
- ③ 自然保護の原点
- ④ ごみ持ち帰り運動発祥の地
- ⑤ 多様な主体が参加できる「仕組み」の存在
- ⑥ 一級自然の中で歩き、学び、宿泊できる特別感
- ⑦ 受け入れることができる利用者層の幅広さ

尾瀬がめざす姿

「みんなに愛され続ける尾瀬」

- **生きものの視点**
尾瀬本来の生きものがありのままに生きている
- **利用者の視点**
いつ来ても楽しく誰もがわくわくできる
- **地域の視点**
地域の人々が誇りを持っていきいきできる



行動理念

みんなの尾瀬をみんなで守りみんなで楽しむ

- みんな** 尾瀬の普遍の価値を広く発信し、尾瀬を愛する輪を広げていきましょう
- 守る** かけがえのない尾瀬をみんなで守り育て、しっかりと次代に引き継いでいきましょう
- 楽しむ** 自然を損なわない楽しみ方を考えながら、みんなが訪れたい尾瀬にしましょう



今 後の方向性と必要な取組

みんなで守る

- ① **自然豊かな尾瀬づくり**
(これまでの取組の継承、貴重な自然環境の保護、植生の荒廃対策、外来植物対策)
- ② **歴史・伝統・文化が息づく尾瀬づくり**
(歴史・伝統・文化の保全、新しい歴史・伝統・文化の創造)
- ③ **野生動物との軋轢の解消**
(ニホンジカによる被害の低減、ツキノワグマとの共存、新たな獣害への対応)
- ④ **科学的知見に基づく保全**
(調査研究の促進)



みんなで楽しむ

- ① **魅力あふれる尾瀬づくり**
(尾瀬の魅力向上)
- ② **幅広い楽しみ方の検討**
(多様な利用方法の検討、エコツーリズムの推進、地域における利用の役割分担、滞在型・周遊型利用の促進)
- ③ **楽しむための土台づくり**
(安全対策、施設の整備、ルール・マナーの検討・普及啓発、望ましい交通アクセスの検討)



みんなの尾瀬

- ① **愛される尾瀬づくり**
(尾瀬のファンづくり、尾瀬で学ぶ機会の拡大)
- ② **モデルとなる尾瀬づくり**
(先進的な取組の推進)
- ③ **尾瀬を育てる仕組みづくり**
(多様な主体の参加と連携促進、担い手の育成、資金的サポートの呼びかけ)
- ④ **情報の効果的・効率的な発信**
(認知度の向上、情報の共有)
- ⑤ **尾瀬の現状把握**
(基本情報の収集)



「みんな」って誰のこと？

新・尾瀬ビジョン Q & A

新・尾瀬ビジョンで考える範囲は？

尾瀬国立公園 + 周辺地域 = 尾瀬 です。
自然を守るための普及啓発や魅力の発信などは、地域を限定せずに進めていきます。

「尾瀬がめざす姿」ってどういうこと？

あなたや次代を担う子どもたちにとって、20年後の尾瀬がどうあってほしいか考えた姿です。